



大河津分水 通水100周年

国土交通省 北陸地方整備局  
信濃川河川事務所

記者発表資料

令和3年 7月 21日

発表をもって解禁

# 平成23年7月新潟・福島豪雨から10年 信濃川・魚野川での取組

平成23年7月新潟・福島豪雨の際は、信濃川河川事務所の管理する信濃川中流及び魚野川においても高い水位が発生し、特に、魚野川の堀之内水位観測所で計画高水位を超過し、観測史上最大の水位を観測しました。

この洪水では、魚野川があふれること等による浸水被害が発生したことから、洪水後、堤防整備等の河川整備を進めてきました。

平成23年7月新潟・福島豪雨から10年を迎えることから、信濃川や魚野川において実施したこれまでの取組、成果について、別添のとおりとりまとめましたのでお知らせいたします。

## 【ポイント】

- 平成23年7月新潟・福島豪雨において浸水被害があった箇所において、堤防整備等を実施したことにより、同洪水時に信濃川や魚野川から洪水があふれること等による家屋部の浸水被害の発生を防止。
- 大河津分水路の可動堰の改築完了と令和の大改修の推進
- 三国川ダムの操作規則変更による洪水調節効果向上
- 排水ポンプ車等の災害対策車両の増強と河川防災ステーションの整備
- 洪水の危険性を情報提供するための水位計や河川監視カメラの増設

今後、令和元年東日本台風洪水を受けてとりまとめた信濃川水系緊急治水対策プロジェクトを着実に遂行するとともに、関係機関と連携し、信濃川中流域の流域治水を推進してまいります。

## 【参考】

平成23年7月新潟・福島豪雨の降雨や被害の状況は下記のURLでとりまとめています。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/bousaic/H2307niigatagou.pdf>

## 配付記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ  
長岡市記者会、長岡地域記者会  
三条市記者室、十日町記者クラブ  
小出郷新聞、小千谷新聞  
越南タイムス、FMゆきぐに  
エフエム魚沼、建設業界向け専門紙

## 【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所  
広報担当 専門職 平塚 洋一郎  
(ひらつかよういちろう)

電話：0258-32-3243（内線354）

# 平成23年7月新潟・福島豪雨の特徴

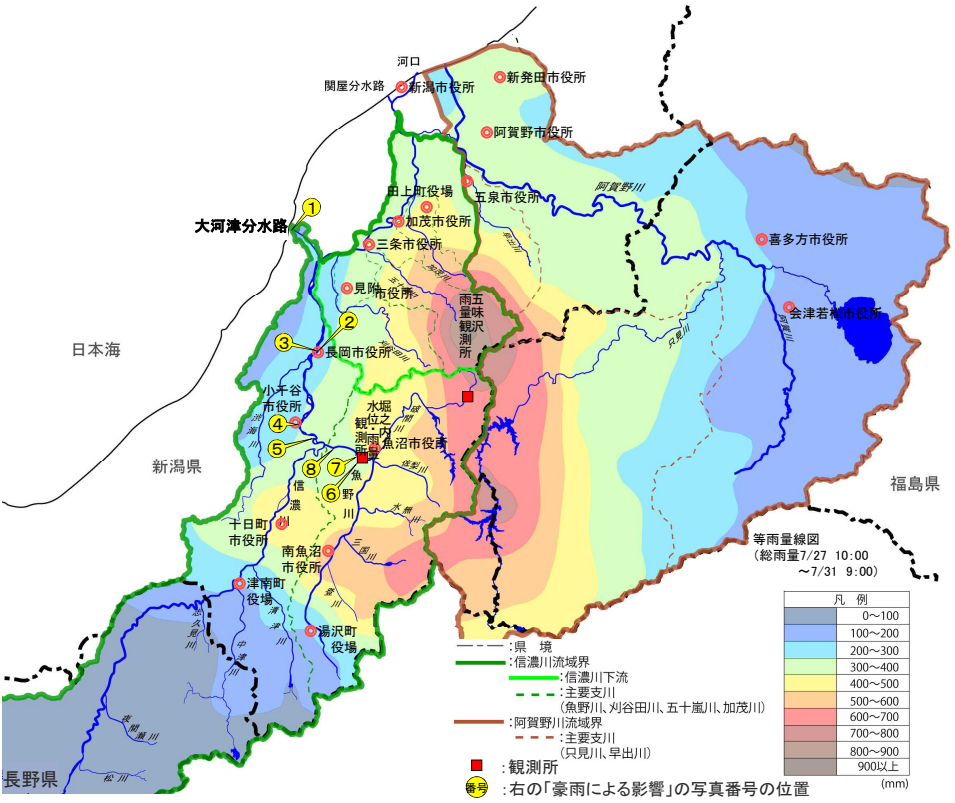
※当時の状況(H24.3.31での記録)であるため、現在の設定、記録と異なる箇所があります。

## 平成23年7月新潟・福島豪雨がもたらした降雨・洪水の状況

### 平成23年7月新潟・福島豪雨

平成23年7月28日から30日にかけて、前線が日本海から新潟県付近に停滞したことにより、猛烈な雨が降る状況が数日にわたって続きました。

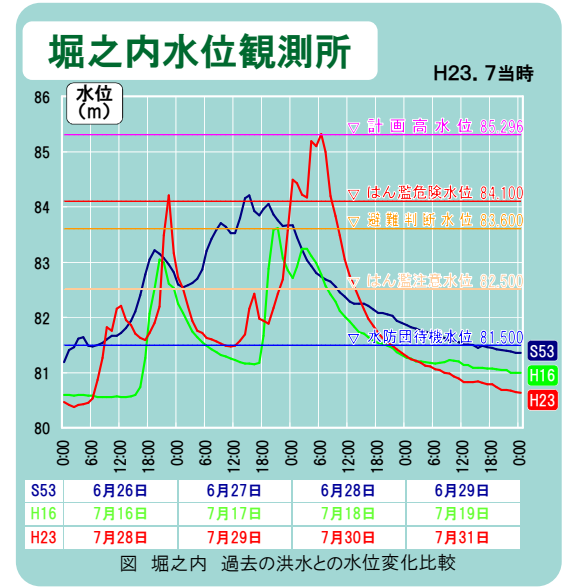
信濃川河川事務所管内での降雨の特徴として、魚野川に合流する三国川沿いの南魚沼市清水瀬地先において、同じ時間帯の4日間で642mmもの雨を降らせました。これは、4日間で1年間に降る雨の約3割が降ったこととなります。



### 水位の状況

豪雨による水位上昇で観測史上1位を記録した魚沼市堀之内をはじめ、各地で記録的な水位を観測しました。平成16年7月新潟・福島豪雨と同様に水位上昇の山が2つある水位変化の傾向でした。

※現在の堀之内水位観測所のはん濫危険水位は83.7m、避難判断水位は83.7mです。



### 豪雨の影響

豪雨による水位上昇に伴い、信濃川及び魚野川があふれることによる床下・床上浸水や道路の浸水等、内水(河川に排水できずにはん濫した水)被害が生じました。



# 平成23年7月新潟・福島豪雨以降の主な対策

## 洪水による被害を防止・軽減するための対策

### 平成23年7月新潟・福島豪雨以降の対策

平成23年7月新潟・福島豪雨による被害を受け、信濃川・魚野川では洪水被害を防止・軽減するための対策を進めてきました。発災から10年間で取り組んでいる主な対策を紹介します。

#### 主な対策実施箇所



### 対策①堤防整備や河道掘削等の実施

平成23年7月新潟・福島豪雨により信濃川や魚野川があふれることにより浸水被害が発生した区間等において、堤防整備や河道掘削等を実施しました。同じ洪水が発生しても洪水が堤防をあふれること等による家屋部の浸水被害の発生を防止できるようになりました。

⇒3P～9P

### 対策②大河津分水路の可動堰の改築と令和の大改修

老朽化が進んでいた大河津可動堰の改築が完了し、機能の確保や強化が図られ、安全性が向上しました。現在は、より大きな洪水を流せるように、大河津分水路で令和の大改修に取り組んでいます。

⇒10P～11P

### 対策③三国川ダムの操作規則変更

三国川ダム下流の河川の改修等の進捗が図られたことから、より効果的な洪水調節が実施できるようダムの操作規則を変更しました。

⇒12P

### 対策④災害対策車両の増強や河川防災ステーションの整備

浸水被害等が発生した場合に派遣する排水ポンプ車や照明車といった災害対策車両を増強しました。洪水時における浸水被害の早期解消等が図られます。現在は、洪水時における被害の発生を防止・軽減する水防活動などを実施する体制を強化するため、河川防災ステーションの整備に取り組んでいます。

⇒13P

### 対策⑤水位計や河川監視カメラの増強等

洪水時における河川の状態を把握するための水位計や河川監視カメラを増強しました。より身近な河川の状況や危険性を、きめ細かく把握できるようになりました。

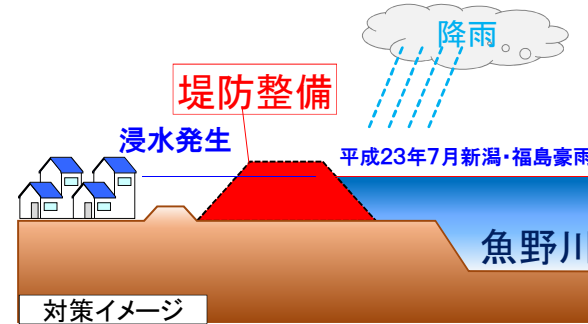
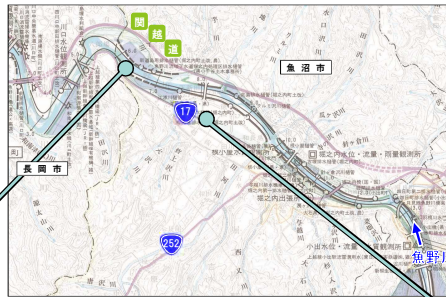
⇒14P

# 洪水氾濫を防止・軽減するための対策

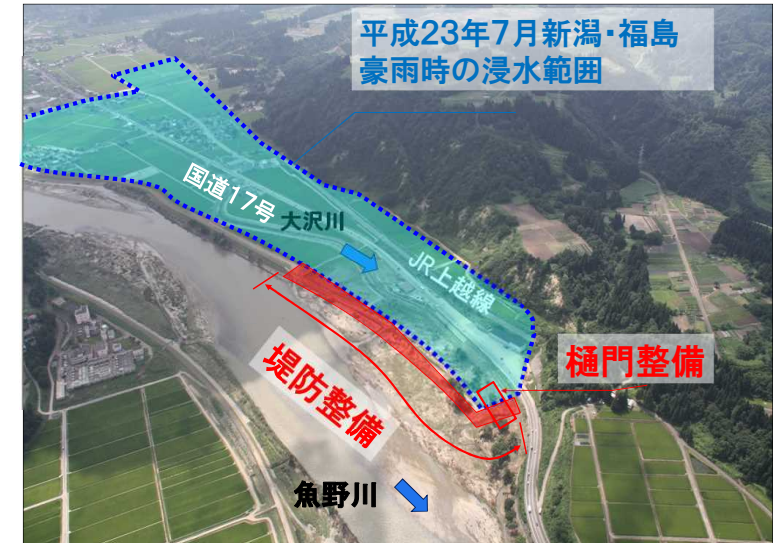
## 河川堤防の整備等【魚野川】

### 魚沼市下島地区での対応

平成23年7月新潟・福島豪雨時は、魚沼市下島地区において、堤防未整備だった箇所から洪水が流入するなどし、床上68戸、床下172戸及び国道17号の浸水被害が発生しました。当該区間では、平成27年度に堤防と樋門を整備が完了し、同洪水時において魚野川から洪水があふれることによる家屋部の浸水被害の発生を防止できるようになりました。



### 浸水範囲と整備の概要



### 整備後の状況

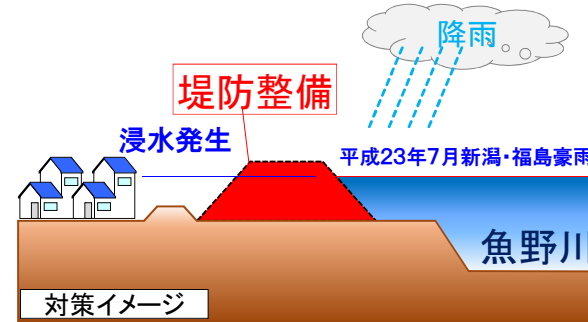
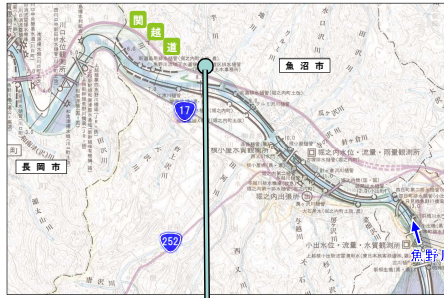


# 洪水氾濫を防止・軽減するための対策

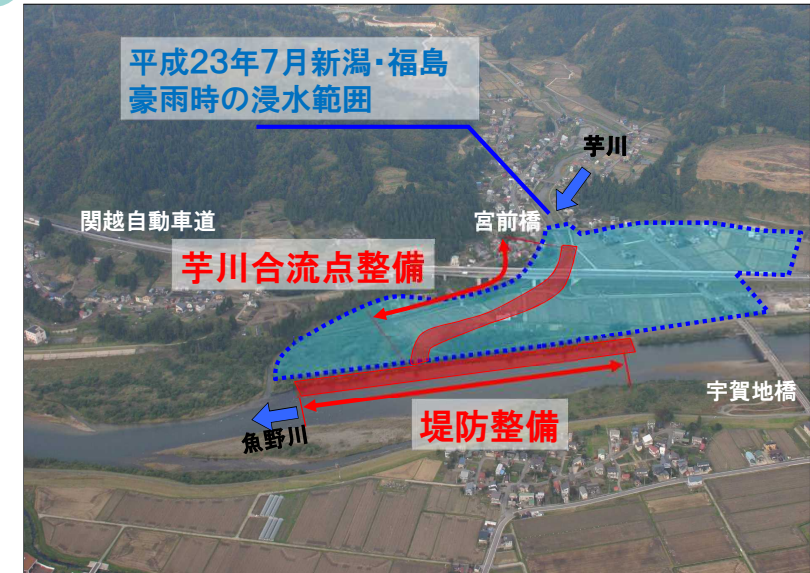
## 河川堤防の整備等【魚野川】

### 魚沼市竜光地区での対応

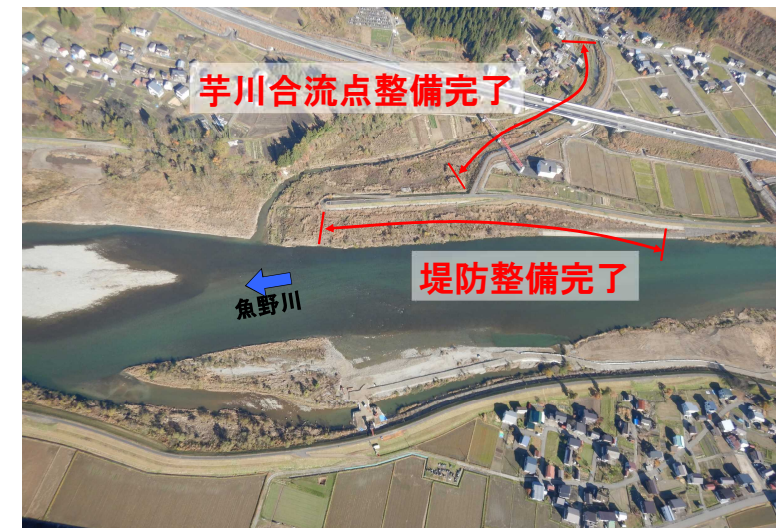
平成23年7月新潟・福島豪雨時は、魚沼市竜光地区において、堤防が未整備だった箇所から洪水が流入するなどし、床上21戸、床下10戸の浸水被害が発生しました。当該区間では、平成28年度に支川の芋川と一体で実施した堤防の整備が完了し、同洪水時において魚野川から洪水があふれることによる家屋部の浸水被害の発生を防止できるようになりました。



### 浸水範囲と整備の概要



### 整備後の状況



魚沼市竜光

信濃川へ合流する芋川の合流部から約500m上流で撮影。  
はん濫により住宅が浸水しました。

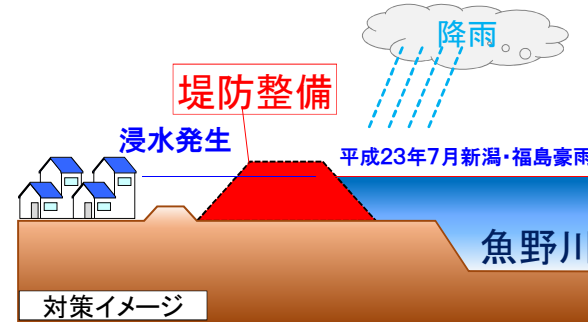
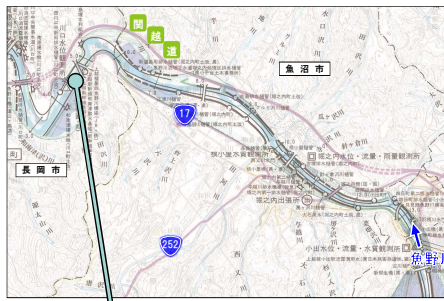


# 洪水氾濫を防止・軽減するための対策

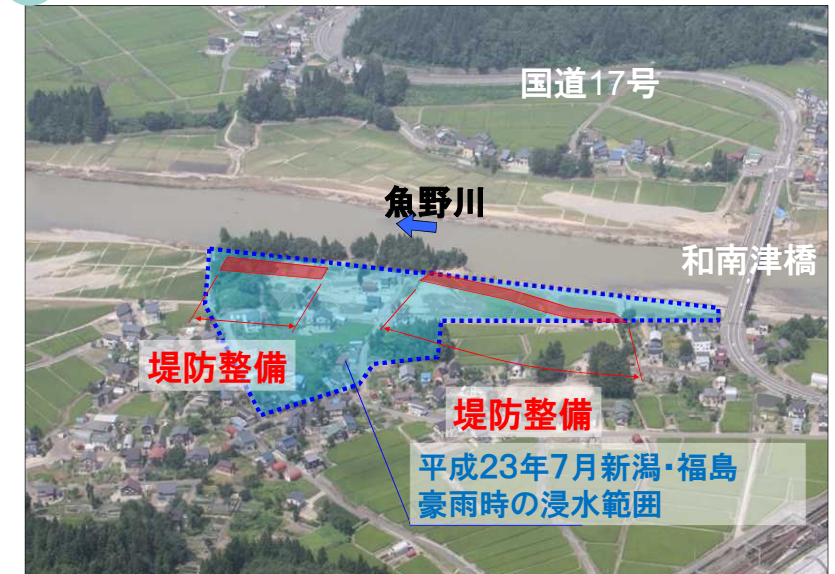
## 河川堤防の整備等【魚野川】

### 長岡市和南津地区での対応

平成23年7月新潟・福島豪雨時は、長岡市和南津地区において、堤防が未整備だった箇所から洪水があふれるなどし、床上6戸、床下6戸の浸水被害が発生しました。当該区間では、平成27年度に堤防の整備が完了し、同洪水時において魚野川から洪水があふれることによる家屋部の浸水被害の発生を防止できるようになりました。



### 浸水範囲と整備の概要



長岡市川口中山・川口和南津  
《和南津橋》



魚野川に架かる国道17号和南津橋付近、右岸側から上流方向を撮影。  
魚野川の濁流が、和南津橋に直撃しています。



和南津橋より約300m下流の左岸を撮影。  
魚野川のはん濫により、住宅や車庫などが浸水しました。

### 整備後の状況



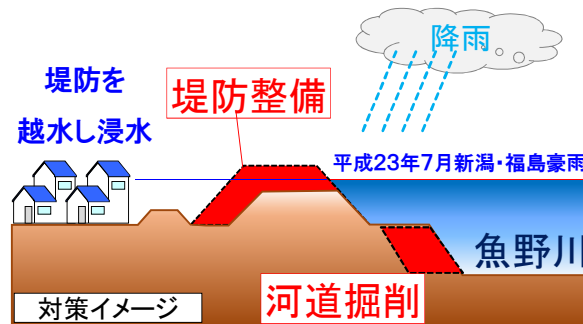
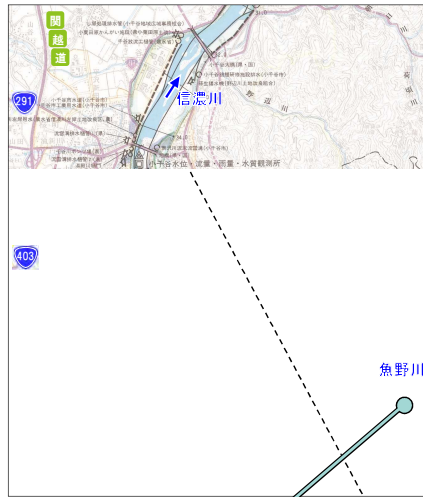
# 洪水氾濫を防止・軽減するための対策

## 河川堤防の整備等【魚野川】

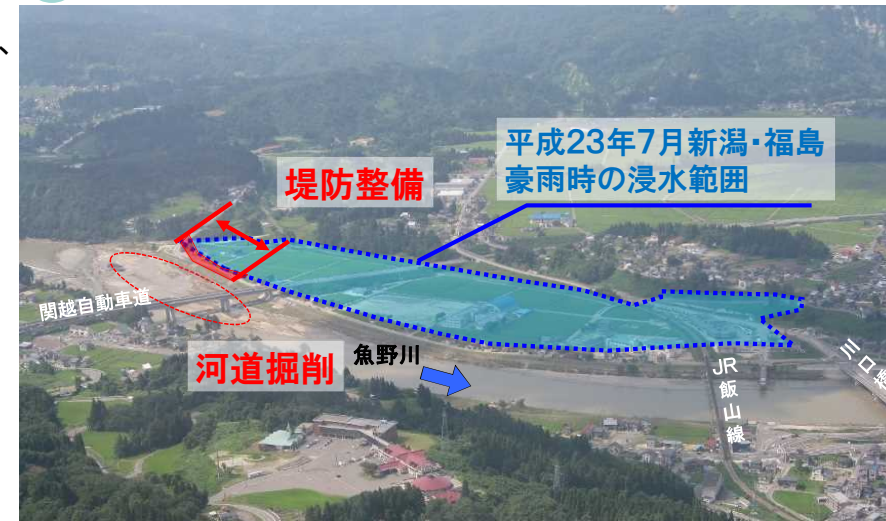
にしかわぐち

### 長岡市西川口地区での対応

長岡市西川口地区は平成23年7月新潟・福島豪雨時は堤防に十分な高さが無く、洪水が越水することにより、床上10戸、床下20戸、川口小学校等の浸水被害が発生しました。当該区間では、平成23年度に堤防の整備が、平成28年度に河道掘削がそれぞれ完了し、同洪水時において信濃川から洪水があふれることによる家屋部の浸水被害の発生を防止できるようになりました。



### 浸水範囲と整備の概要



### 整備後の状況



### 長岡市西川口 《JR魚野川橋梁・旧川口橋》



魚野川に架かるJR飯山線の魚野川橋梁と撤去中だった旧川口橋付近。架け替えた川口橋から上流を方向を撮影。  
魚野川の水位が上昇し、写真撮影時は撤去中だった旧川口橋の橋桁まで水が迫っています。



魚野川の堤防からあふれた水により川口小学校が浸水しました。



一部堤防が低くなっている箇所があり、そこから水があふれて住宅地などが浸水しました。

















